

博物館
Museum
☎ 68-1881

企画展

蒲郡港開港60周年 海を埋める・海を拓く

海岸線の長い蒲郡では、古くから海を埋め立てて様々な産業を発展させてきました。塩業、漁業、貿易の拠点から、スポーツやアミューズメントまで、海岸発展の様子をお伝えします。

とき 7月18日(土)～8月30日(日)

ところ 1階 特別展示室

【ギャラリートーク】

8月1日(土) 午後1時30分～2時30分
学芸員による展示解説



昭和40年頃 浜町
埋立により亀岩が陸続きに



昭和43年頃 蒲郡埠頭
木材の隣で出荷を待つ自動車



平成5年 大塚
海陽ヨットハーバー完成
ラグーナはまだない

竹島水族館 Aquarium

☎ 68-2059

館長の ひょうたん



小林龍二

良いのか悪いのか、人生100年時代といわれる。戦前は平均50歳、もっと昔は平均30歳ぐらいだったそう。水中の生物の寿命は長短様々で、サバやアジは約5年、金魚は約10年、イカ・タコやその辺にいるハゼは1年しか寿命がない。短いので保険屋さんは大変だし本人(魚)たちは努力して濃い人(魚)生設計が必要である。反対に深海に住むニシオンデゲンザメは500年生きると言われている。深い海の底でそんなに生きてどうするんだ。

もっとも寿命の短い魚はアフリカに住むノソブランキウス・フルゼリ(フアーザイとも言う)という小魚で、寿命はなんと3か月。急速に成長して産卵し、電池が切れたようにパタリと死ぬ。非常にサッパリとした魚生である。世代交代サイクルが早いので老化の研究にも使用されているが、一部マニアにも飼育されている魚でもある。国内の愛魚マニアが努力して維持していたが、サイクルが早く扱いが難しかったためか、どうも国内維持が絶えたようでもまったく目にしなくなった。ということで、こんな非常に特異的な魚なので国内に再導入して展示してやろうとヒソカに動くことにした。インターネット上の変態魚マニアのオークションでブルガリア人が出品していることを発見し、オークションに参加して落札した。ここまでやると私自身も変態である。ブルガリアから無事に届くか、届いてもうまくいくかどうかかわからないので水族館の貴重な予算を使うのは危険すぎるので(しびしび、と思いつつ期待の方が大きく)私財を使い、まずは自宅の様子を見ます。うまく導入し、繁殖・量産し展示できるよう頑張ります。



この魚が寿命3か月。アフリカの限られた地域の水たまりに住む。